

教員採用試験に多くの学生が現役で合格しました。教員採用試験に合格した4年生に後輩がインタビューした記事を3面に掲載しています。

令和4年度入学生より教育学部の学生が中学校教諭二種免許状を取得できるようになりました。履修方法を3面に掲載しています。

宮崎国際大学教育学部ニュースレター

令和4年度教員採用試験報告と公立学校教員採用試験日の変更について

副学長・教育学部長 福田 亘博



教育学部のニュースレターは、年間3号発行していますが、この期のニュースレターでは毎年教員採用試験合格に関することを紹介しています。白石学生教職支援センター長の下記の記事にもありますように、教育学部4年生が果敢にトライし、23人が現役合格しました（合格率78%）。特に、宮崎県では募集人員の30%削減（昨年度比）の中ですので大健闘です。本当におめでとうございます。あと半年間の学生生活では、振り返りをしっかりと行い、不足する知識・技能を充足させるように研鑽を積んでほしいと思います。

さて、新聞・テレビ等でも報道されましたように、人事院は2023年度国家公務員総合職試験を例年より2週間程度早く1次試験を実施し、6月上旬には最終合格者を発表するとの前倒し案を発表しました。民間の内々定が解禁となる6月1日と同時期に採用者を決定したいとの意向です。これは国家公務員試験への志望者減と民間企業の

採用活動の早期化に対抗して優秀な人材確保が目的との報道です。文部科学省でも志願者減に悩まされている公立学校教員採用試験について、現行の7月の実施を3か月程度前倒しすることで、4～5月頃実施し、8月中には合格者を発表する案を提示しました。早ければ2024年度から実施したいとのことです。人事院や文部科学省の検討経過を見ると、おそらくこのスケジュール通りに実施されるものと思われます。

教育学部では、現2年生以下の学生が試験時期変更の影響を受けることになることから、早速これらの「動き」に対応して現行の教職カリキュラム開講時期等の変更について検討を開始したいと思います。

本学部では、このように社会の情勢や変化に迅速に対応し、高い教員採用試験現役合格率を維持していきたいと思えます。皆様には、本学が掲げる「礼節 勤労」の教育理念のもと、学生諸君が教員や公務員になりたいとの希望が確実に達成できるように、教職員が丸となって指導・支援していきますので、相変わらずのご協力・ご支援をお願い致します。

公立学校教員採用試験 今年も素晴らしい結果を残しました 現役合格者 小学校23名 中学校(英語)4名 !!

本年度の教員採用試験は、定年制延長の影響から宮崎県小学校教員の募集者人数が約65名減(昨年度220名⇒本年度155名)の中で行われました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続く中、健康管理を徹底し、教員と学生、学生同士の見事なチームワークで今年も難関を突破し、多くの合格者を出すことができました。

今年の宮崎県の二次試験は「模擬授業」「面接・英会話」に「グループワーク」という新しい型の試験が導入されました。「グループワーク」はコミュニケーション

能力や社会性、教養の豊かさや人間性が問われる試験です。現役合格者は小学校23名、中学校4名でした。宮崎県の中学校(英語)教員二次試験現役合格者は開学以来初めてです。学生たちが自ら、英検等への昇級を課し、チームで乗り越えた試験結果でした。今後、4年生は、教師としての資質の向上を一層図るために、宮崎県教育委員会主催の初期研修や宮崎市教育委員会主催の特別支援教育学生ボランティア等に積極的に参加し研鑽を積みまます。

(学生教職支援センター長 白石 知子)

宮崎県小学校	教育学部 現役学生 21名合格	教育学部 卒業生 2名合格
鹿児島県小学校	教育学部 現役学生 1名合格	
熊本県小学校	教育学部 現役学生 1名合格	
宮崎県中学校	国際教養学部 現役学生 2名合格(英語)	
熊本県中学校	国際教養学部 現役学生 1名合格(英語)	
福岡市中学校	国際教養学部 現役学生 1名合格(英語)	国際教養学部 卒業生 1名合格(英語)
宮崎県特別支援学校		国際教養学部 卒業生 1名合格(英語)



宮崎国際大学マスコットキャラクター ミック

卒業した先輩からのメッセージ

「今」大切にしてほしいこと



小林市立三松小学校教諭 角田 純平
(平成30年3月宮崎国際大学教育学部卒業)

教員生活5年目の私から、学生の皆さんにお伝えしたいことが二つあります。

一つ目は、大きな夢と明確な目標をもつということです。まずは、夢をもってほしいです。「宮崎で先生になる」「教員採用試験に合格する」など、今の自分の夢をもちましよう。夢をもったら、実現させるために目標を立てましよう。目標は細かいほど良いと思います。「週一回、友達と模擬授業をする」や「毎日教育に関する本を読む」などです。目標達成を積み重ねることが、夢を実現させることにつながると思います。

二つ目は、学びを続ける気持ちをもってほしいということです。教員になってからも、目の前の児童のために様々なことを学ぶ必要があります。今の学びに満足することなく、大学の先生、仲間、書物など、たくさんの人、物から学んでほしいと思います。

先日は私の話を聞いていただきありがとうございました。いつか教育について熱く語り合える日を楽しみにしています。



日々学びの連続



明星幼稚園教諭 甲斐 百華
(令和3年3月宮崎国際大学教育学部卒業)

私は現在、年中児（4歳児）クラスの担任をしています。毎日、子どもたちの笑顔に囲まれながら楽しく過ごしています。実際に現場で保育をすると、子どもたちへの関わり方や保育の進め方など戸惑ったり悩んだりすることもたくさんあります。しかし、先輩の先生方に相談に乗ってもらったり、アドバイスを頂いたりしながら日々学びを深めています。

今、学生時代を振り返って思うことは、手遊びのレパートリーを増やしておくことはとても大切だということです。私のクラスの子供たちはじゃんけんや文字・数字に関心を持っているので、関連した手遊びをすると「もう1回！」と何度も楽しんでいきます。年齢に応じた手遊びのレパートリーを身に付けておくと現場で役に立つと思います。

学生時代に学んだこと一つ一つが、現場に出て役に立つと今実感しています。また、就職して現場に出た今も、日々学びの連続です。後輩の皆さんも、学生時代にたくさんの経験をして学びを深めていってください。きっと現場に出て役に立つと思いますよ！応援しています！

お二人は本年度学内で実施した「教員・保育士採用試験合格のための夏季特別対策プログラム」において、「先輩からの講話」をして下さいました。仕事内容や採用試験対策などについて話して下さい、充実した講座になりました。

就職内定

多領域で活躍できる保育者を目指して

都城市役所(保育士・幼稚園教諭枠)〈内定〉
教育学部4年 日高 紗希
(宮崎県立宮崎北高等学校出身)



私は、今年8月に都城市役所から内定をいただきました。私が公務員を目指した理由は、子どもとその家族がのびのびと笑顔で暮らせるような、子育てしやすい環境の整備に関わりたくて強く思ったからです。大学の講義や保育園でのアルバイトを通して、働きながら子育てをする難しさや

子育て家庭への支援の重要性を学び、公務員に興味を持つようになりました。都城市を選んだ理由は、子どもから高齢の方々までの支援が充実しており、私もこのような街で一層住みやすい街づくりに貢献したいと思ったからです。私は、大学2年生の頃から公務員試験の勉強にコツコツと取り組み、試験前には先生方にアドバイスをいただき、採用試験に臨みました。

今後は、子どもや保護者に信頼され、子ども主体の保育を展開できる保育者、そして地域住民の声を聞き、常に地域のことを考えながら行動できる市職員になることを目指して、日々努力していきたいと思っています。

就職活動を行うにあたって

社会福祉法人石井記念友愛社 仁愛の家〈内定〉
教育学部4年 御手洗 光
(宮崎日本大学高等学校出身)



私は、社会福祉法人石井記念友愛社の園から就職内定をいただきました。私は以前からこの園で働きたいという気持ちがあり、実習に行かせていただいたときに園長先生や主任の先生と就職に関してのお話もさせていただきました。実際に実習をしてみることでホームページだけでは分からなかった園の雰囲気や保育の内容を知ることができたので、実際に園で体験することはとても重要なことだと実感しました。

今回内定をいただいた園が自分の保育観や自分の性格が一番合っていると実習を通して感じたので採用試験を受けました。この経験から実際に園に訪問し、どのような園なのか自分に合いそうなのかを確かめることが大切だと思います。

教員採用試験に合格した4年生3名に3年生2名がインタビューし、3年生が記事を作成しました。

1 いつ頃から勉強を始めましたか

少しずつは勉強していましたが、幼稚園実習が終わってから採用試験勉強に専念し始めました/2年生の後期から始めました/

始める時期はそれぞれでしたが、早く始めるに越したことはないとのことでした。

2 勉強時間や方法はどのようにしていましたか

勉強を早くから始めたので、平日は1日3時間以内で終わらせその他は好きなことでリフレッシュしていました/夜10時まで大学に残り友達と勉強していました/休日に図書館で4~6時間勉強していました/

先輩方は自分に合った勉強方法を見つけっていました。

3 二次試験へのアドバイス

【模擬授業】

みんなで協力して同じ単元の授業をつくる際に、オリジナルな部分を少し出すとさらに良い授業になります/あまり他の人の授業内容にとらわれず自分の考えも持っておくと良いです/児童が目の前にいるつもりで発問などをします。現在注目されているICT機器の活用も重要になります/最後に試験担当者から授業についての質問があるので、その後の展開など内容を深く理解しておく必要があります/

【グループワーク】

テーマを発表されるので、それについて事前に調べてメモを残します。このメモは持ち込めるのでしっかり書いておく必要があります/グループワークは協調性がとても大事です。相手の意見に対して前向きな気持ちを表しつつ、自分の意見を伝えるといいです。心無い言葉などを発することは良くありません/

【面接】

面接では回答内容はもちろんですが、表情や雰囲気づくりも

大事です。内容は基本的に予想されたものが出ましたが、いくつか予想外の質問もあったので日頃から自分の意思をはっきりさせておき、幅広い質問に答えられるように練習しておくといいです/英会話では基本的な表現が使われました。積極的に答えることが大事です/

4 勉強以外でしておいたほうがよいこと

願書に活動記録を書く欄があるのでボランティアやゼミに参加し、英検や漢検などに挑戦しておくとい/趣味を見つけてストレス発散や息抜きができるようにしておくとい/

5 頑張るためのモチベーション

模擬試験で上位を目指すつもりで勉強をすることです。高い目標があったので頑張れました/実習先で子どもたちからもらったメッセージなどを読んで、やる気を出したり信頼できる先生に泣きついたりしていました(笑)/

6 後輩に対するメッセージ

採用試験は気持ちが大事なので、同じ目標に向かう仲間たちと互いに励まし合いながら頑張ってください/国際大学の教育が素晴らしいと実習先の先生方から良く聞きます。皆さんは国際大学に入学したことを誇りに思っ信じて頑張ってください!/



左から教育学部4年黒木明美(熊本県立大吉高等学校出身)、3年園田正彦(宮崎県立宮崎南高等学校出身)、4年日高美咲(宮崎県立宮崎西高等学校出身)、4年岩切翔聖(宮崎県立宮崎北高等学校出身)、3年三輪あいな(宮崎県立宮崎北高等学校出身)

教育学部で中学校教諭二種免許状(英語)を取得できます

履修方法について

教務課長 外山 雅士

令和4年度入学生より、教育学部の学生が、中学校教諭二種免許状(英語)を取得できるようになりました。希望者は、国際教養学部の教職科目を履修することにより、4年間で免許状申請に必要な単位取得を目指します。

中学校教諭二種免許状を取得するにあたって、大切な条件があります。それは、小学校教諭一種免許状の取得が必須となることです。これは、すでに所要資格(小一免)を得ている場合に、他の校種(中学校教諭免許など)の免許取得に必要な単位数を軽減できる規則を利用するためです。そのため、中学校教諭二種免許状のみを取得することはできません。

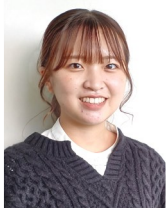
履修科目については、教科及び教科指導法に関する科目の中で、最低7科目を2年生以降に取得します。教科科目は全て英語が教授言語になるため、2年生になるまでに英検2級以上とTOEIC500点以上の英語力を身に付けてください。また、教職に関する科目は、教育実習と事前事後指導に加え数科目の履修となります。

科目名

英語学習のための言語学
英語発音指導のための音韻学
英語学習のための文学
教職英語
異文化理解概論
英語科教育法1
英語科教育法2
事前・事後指導
教育実習Ⅰ

子どもたちのいろいろな姿

教育学部3年 新森 彩加
(宮崎県立宮崎北高等学校出身)



私は、夏休みにレインボースクール自然体験活動ボランティアに参加させていただきました。みやざき臨海公園で小学生と一緒に海水浴やバーベキュー、砂の造形を行いました。ボランティアに参加する上で大切にすることは、子どもたちに平等に接することと、夏休みのよい思い出となるように、みんなが楽しいと感じる体験活動にすることでした。

子どもたちに楽しんでもらうためには、自分が楽しまなければならないと思い、一緒に海水浴をしたり、一緒に穴を掘って砂の造形をしたりしました。その中で、自分が持ってきたお菓子をみんなに配る姿や水の入ったバケツを一緒に運ぶ姿など、子どもたちが仲良く触れ合うさまざまな姿を見ることができ、感動しました。

また、子どもたちは個性があり、それぞれの個性に対応した指導をすることの大切さを痛感しました。今回のボランティア活動は、私にとってとても貴重な体験となりました。

レインボースクールでは小学生の学習支援を行っており、本学学生は支援員として参加しています

ボランティア活動での学びと目標

教育学部2年 矢鳴 渉
(宮崎学園高等学校出身)



私は、これまでに子どもと関わるボランティア活動に参加してきました。例えば、認定こども園や保育園での木工製作活動あるいは宮崎アートセンターでの展覧会スタッフ、宮崎市一番街での玩具作り体験など主に木育に関わるボランティア活動に参加しました。木育とは、木を子どもの頃から身近に使っていくことを通じて、「木とふれあい、木に学び、木と生きる」ことを目指しています。人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育てる取り組みです。

ボランティア活動を通して、子どもの前で分かりやすく説明することの難しさ、楽しさを体験しました。展覧会でのボランティア活動では、展示物のセッティングの難しさ、大変さを実感することが出来ました。力仕事も多く、来場者が楽しむ為には、事前の準備がとても大切なのだ学びました。また、一つの木工玩具で複数の遊び方ができ、遊びの選択肢が広がる事に、どうしたら気付かせる事が出来るのか、子どもたちがより楽しみながら遊んでくれるにはどんな言葉掛けをすればいいのかなどを今後の課題にしたいと思うようになりました。

今後もボランティア活動を通して木育について学び、子どもたちに伝えていけるようにしていきたいです。活動を通して、豊かな心を育むためには何が大切なのか考えていきたいと思っています。そして、今の目標である保育所や施設で働き始めた時に、木工製作活動を子どもたちに教えていけるように専門的知識と実践力を身に付けたいと思っています。

入試広報部からのお知らせ

お問合せ先

TEL 0120-85-5931

MAIL admissions@sky.miyazaki-mic.ac.jp

LINE相談受付中

「入試制度について知りたい」など、見学会に行くことができない、という高校生・保護者の方のために、公式LINEアカウントのチャット機能をオープンしています。お気軽にお問合せください。



週末キャンパス見学会 & 相談会

詳細はこちらから↓

CONTENTS

10:00~12:00

- ◆学部説明
- ◆受験対策講座 (任意)
国際教養：英語面接対策
教育：小論文対策
- ◆入試相談 (任意)

大学について知りたい！オープンキャンパスまで待てない！という方のための週末見学会(要予約)です。

詳細は本学HPで！ ※予約状況によって人数を制限する場合があります。

第5回

12/3土

第6回

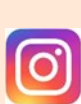
1/21土

第7回

2/18土

第8回

3/11土



YouTube



宮崎国際大学

〒899-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話：0985-85-5931

FAX：0985-84-3396

ホームページ：<http://www.mic.ac.jp>

国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科



宮崎国際大学